

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 小規模企業 振興基本法に ついて	小規模企業振興基本法は、「全国 385 万の中小企業、中でもその 9 割 334 万を占める小規模企業は、地域の特性を生かした事業活動を行い、就業の機会を提供することにより、地元の需要、雇用を担うなど、地域経済の安定と地域住民の生活の向上・交流の促進に寄与する極めて重要な存在である」と基本的考え方で表明している (1) 2014 年 6 月に制定された小規模企業振興基本法と中小企業基本法の関連を問う (2) 那覇市中小企業振興条例が作られて 4 年が経過した。条例制定による効果や政策の進捗状況を問う (3) 本市における小企業の数と全企業に対する比率を問う (4) 本市の中小企業振興条例に小規模企業を明確に位置付け、推進が必要ではないか
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 商店版リフォーム助成制度について	中小業者・小規模事業者の仕事起こしにつながり、地域経済の活性化に効果がある、商店改修助成制度や商店リフォーム助成事業を創設する自治体が増えている。実施自治体の実績、効果を問う
		3 真和志南地区生き生き人材育成支援施設(仮称)について	建設基本構想が策定され、早期の建設が待たれている。今後のスケジュールと、基本構想での施設の基本理念を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 マイナンバー制度について	県内で 74 万件もの年金番号と氏名が流出し、住所・生年月日の 4 情報の漏えいは 6813 件にも達している。年金情報はマイナンバー制度対象の根幹をなす個人情報であり、その漏えいは深刻な事件と考える マイナンバー制度によって国民の個人情報が集積され、特定の個人番号によってあらゆる分野の個人情報が一気に漏えいしてしまう危険性は否定できない。政府が言うように、便利になることは危険性も高まる事を認識して、一度立ち止まって来年 1 月の実施は中止すべきである (1) マイナンバー制度が実施される 2016 年 1 月から、市役所などの申請手続きで求められる個人番号の記載はどのような手続きがあるか。制度の詳細を市民が認知しているか (2) 年金機構は流出した年金番号を新しく付け替えるのは 9 月以降としている。公表以上に漏れている可能性も指摘されている中で、10 月からの番号通知の発送は延期すべきではないか 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成27年6月26日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	前泊美紀 (無所属の会) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 平和行政について	戦後70年を迎える今年、報道機関が行った県民意識調査(沖縄タイムス 2015年6月17日掲載)によると、沖縄戦の記憶が「風化している」と答えた人が68%である一方記憶継承に86%が意欲をもっていることがわかった また、朝日新聞社が実施した沖縄戦体験者アンケート(回答者数502人、2015年6月10日掲載)では、各年齢層で「心の傷」を抱えている可能性が示され、「実態把握が急務」との視点が表されている 「いま何をどう継承していくか」との観点から、現状と課題について、以下を問う (1) 戦後70年の節目としての、今年度の那覇市の平和関連事業について (2) 沖縄戦体験者の治療や環境改善を目指したPTSD(心的外傷後ストレス障害)調査の必要性について、市の見解を問う
		2 ひとり親家庭支援について	(1) 母子及び父子家庭自立支援給付金事業について、高等職業訓練促進給付金の活用実績等の現状と、対象要件中「その他市長が認める資格」の具体的な内容について問う (2) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業について、本市で実施する予定はないか、市の見解を問う
		3 てんぶす那覇及び那覇市ぶんかテンブス館のあり方について	てんぶす那覇ビル及び那覇市ぶんかテンブス館は、平成16年11月の開館から10年の節目を迎えた。時代や周辺環境の変化から、この機会に同施設のあり方を見直す必要があるとの観点から、以下を問う (1) 指定管理者制度を含めた見直しの検討について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 集客力のあるイベント拠点としての活用の視点からも、利用者の利便性の向上や環境整備は重要と考える。てんぶすビジョン及びポケットパークの使用手続きや活用など、現状と課題及び対策について問う
		4 包括外部監査について	(1) 平成 26 年度包括外部監査結果報告書「補助金及び交付金、負担金に係る財務事務の執行並びに事業の管理について」への、市の今後の対応を問う (2) 平成 25 年度包括外部監査「公の施設の管理運営及び指定管理者制度に関する事務の執行について」の結果に基づき講じた措置（「那覇市公報第 1627 号」平成 26 年 9 月 1 日）について、その後の進捗を問う
		5 防災情報の多言語化について	那覇市では、市がメール配信する防災気象情報を多言語（英語、中国語、韓国語）で配信するサービスを、平成 27 年 3 月より実施している 防災情報の多言語化について、現状と課題を問う
		6 レインボー行政について	（仮称）L G B T 支援宣言について、正式名称決定へのプロセスと宣言後の取り組みを問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 27 年 6 月 26 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	平 良 仁 一 (新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 道路行政について	(1) 市道鏡原小緑線及び鏡原 20 号道路の交通渋滞緩和対策について ① 左折専用車線増設について当局の見解を伺う ② 当局の現在までの取り組みと経緯及び今後の取り組みについて伺う (2) 市道の路線認定について ① 市道小緑 88 号認定予定路線の認定までのスケジュールを伺う ② 認定後の整備計画を伺う ③ 認定予定の小緑 88 号は、地域住民が生活・通学路として頻繁に利用する道路である。整備計画において、地域住民の声を聞いて反映させるべきだと思うが、当局の見解を伺う (3) 都市計画道路小緑赤嶺線整備事業について ① この事業の進捗状況を伺う ② この事業は、当初計画では平成 16 年度着工、平成 24 年度完成予定であったが、用地取得の遅れから 3 年間延長され、平成 27 年度完了予定になっているが、予定どおり完成するのか伺う ③ もしこの整備事業が予定どおり今年度完成しなければ、当局はどのような対応をするのか見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 防災行政について	(1) 鏡原町地域の浸水対策について伺う (2) 津波時における鏡原町地域の避難場所について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 27 年 6 月 26 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	坂 井 浩 二 (ひやみかち那 覇・無所属の会)	1 保健行政に ついて 2 道路行政に ついて	本市における子宮頸がんワクチン接種に伴う 健康被害の実態について伺う 小禄泉原自治会、いわゆる琉球団地内におけ る私道の市道認定について、地域住民が、何十 年と認定及び整備を切望しながら放置されてき た案件であるが、当初困難視されてきた見解か ら「那覇市道の路線認定基準設定」の適合に至っ た経緯を伺う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)		【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（3日目） 平成27年6月26日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	栗 國 彰 (自 民 党)	1 福祉行政について	(1) 障害年金を申請して不支給と判定される人の割合に、最大6倍の地域差があるようだが、厚生労働省は2011年までに問題を認識しながら、昨年まで実態を調査せず、また不支給や等級が違うことがあるとの認識も示していながら、見直しが進まないとのこと、本市の不支給と判定された割合を伺う (2) 認知症対策に向け、国家戦略として新オレンジプランを決定した。2025年には認知症の高齢者が700万人前後に達すると見込まれていることから、今や一般的な病気だとして、よりよく生きるための環境整備を目指す方向として取り組んでいると思うが、今後の対応について伺う ① 本市の認知症の方は何人か ② 徘徊による認知症行方不明者は何人か（3年間） ③ 認知症の徘徊取り組み対策について
		2 環境行政について	識名園から真和志高校向け悪臭の苦情が多く、対策を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（３日目） 平成 27 年 6 月 26 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	花 城 正 樹 (なは民主)	1 援護法と農 兵隊について	鍬（くわ）の少年戦士と呼ばれた農兵隊とは何か伺う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 ドッジボー ルについて	先日、少年少女ドッジボール大会が開催された。大会の目的とドッジボールを通して何が学べるか伺う
		3 小中一貫教 育学校(仮称) について	小中一貫校を制度化する改正学校教育法などが6月17日、自民、公明、民主、維新などの賛成多数で可決、成立した。概要について伺う
		4 ふるさと納 税について	(1) 前年度、本市へ寄付していただいた方々の人数と寄付額を伺う (2) 那覇市民が他府県（他市町村）へ寄付することによる本市の影響を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 27 年 6 月 26 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	翁 長 俊 英 (公 明 党) 質問方式 一問一答形式 (質問席のみ)	特色あるまち づくりについて	(1) ヒージャー特別協働大使について 銘苅埋蔵文化財センター予定地ヒージャー放牧及び大石公園のヒージャーふれあいについて、まちづくり・経費削減・環境・教育の観点からどのように評価しているか (2) 公園における除草の活用について ① 公園内除草の総経費 ② 除草後の処理はどうしているのか (3) 屋上緑化事業について 現状と進捗状況、評価について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 27 年 6 月 26 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	湧 川 朝 涉 (日本共産党)	1 龍柱について 2 那覇軍港の返還について 3 消防行政について	龍柱建設事業において、市民負担が増えたのは、那覇市の不適切な執行ではなく、業者の工事の遅れも原因ではないのか。当局の見解を伺う 那覇軍港の現状について、当局の見解を伺う (1) 救急業務について、以下質問する ① 那覇市の救急出動の現状と特徴について ② 1 隊あたりの救急出動件数は幾らで、中核市と比較して何位か (2) 予防業務について、以下質問する ① 消防法改正の概要について、説明を求める ② 機動査察係の創設された目的と役割について (3) 消防職員の適正配置について、以下質問する ① 国の新しい整備指針にもとづく職員の職員算定数と実際の現員数と充足率について ② 那覇市消防局の職員定数は幾らで、現員数、充足率は幾らか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 27 年 6 月 26 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	喜舎場 盛 三 (公 明 党)	1 生活困窮者 支援について	(1) 生活困窮者自立支援制度が４月にスタートしたが、必須事業である自立相談事業、住宅確保事業の本市の取り組み状況を伺う
	質問方式 総括質問形式 (演壇・質問席)	2 認知症対策 について	(2) 任意事業の取り組みを伺う 認知症の方は全国で 2012 年には 462 万人（予備群 400 万人）に達し、2025 年（平成 37）年には 700 万人になると推計され、本市でも今 9,056 人に達していることから、認知症対策が急務であると思う。そこで以下伺う (1) 認知症は早期診断で早期対応そして容態に応じた適時適切な医療・介護の提供が重要であるが、認知症初期集中支援チームの設置などの取り組み (2) 認知症予防の推進するためにこれからどのように取り組むのか (3) 市民ひとり一人が認知症に関する認識を持つことが重要だが、認知症への理解を深めるための啓発の取り組み
		3 防災対策に ついて	(1) 風水害や地震災害の発生時における本市職員の初動マニュアルが作成されているがその概要を伺う (2) そのマニュアルには、災害に対する職員の心構えやそれぞれの任務が明記されているが、職員がそれを把握していざという時に即行動できるように、自分の任務を把握していなければならない、それを徹底させるために、どのように取り組んでいるのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 学校図書について	(1) 2015 年 4 月より改正学校図書館法の第 6 条で学校司書の位置づけが明確にされ、学校には学校司書を置くように努めなければならないと規定されたが、学校司書の本市での配置状況を伺う (2) 本市の学校での読書活動の取り組みを伺う
		5 性同一性障害について	文部科学省では本年 4 月に、性同一性障害に係る児童生徒に対する学校における支援の事例を示して、きめ細かな対応の実施等について通知しているようである。平成 26 年 6 月議会で、学校においてそのような児童生徒へのきめ細かな対応を要望したが、本市の学校における性同一性障害と思われる児童生徒への対応を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長